

## アンケート調査結果について

### 1. アンケート調査の概要

#### ○目的

市民や事業所等の環境に関する意識や意見を把握し計画策定の基礎資料とするためアンケートを実施

#### ○対象

市民 住民基本台帳から無作為抽出した計 1500 名  
 児童生徒 住民基本台帳から無作為抽出した小学校 5 年生 599 名、中学校 2 年生 596 名  
 計 1195 名  
 事業所 NTT データから無作為抽出した計 100 事業所

#### ○調査期間

- ・市民、事業所 10月1日に調査票送付 10月20日を回答期限に設定
- ・児童生徒 10月19日に調査票送付 10月31日を回答期限に設定

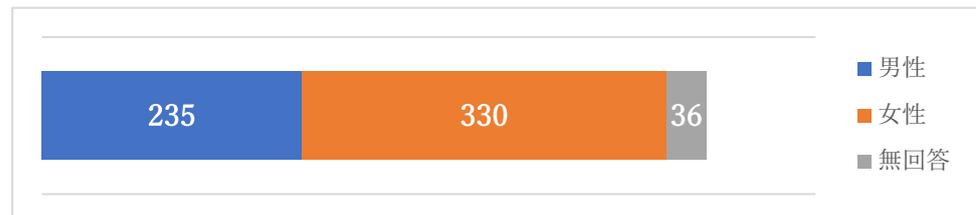
#### ○回収数、回収率

市民 回収件数 601 件 (回収率 40.1%)  
 児童生徒 回収件数 353 件 (回収率 29.5%)  
 事業所 回収件数 39 件 (回収率 39.0%)

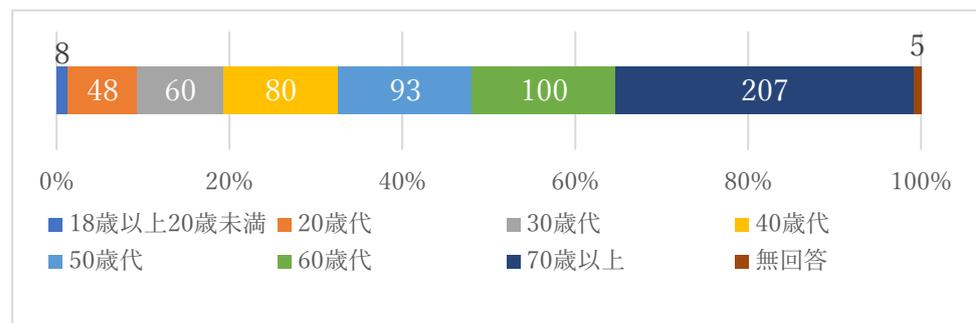
### 2. 回答者の属性

#### ○市民

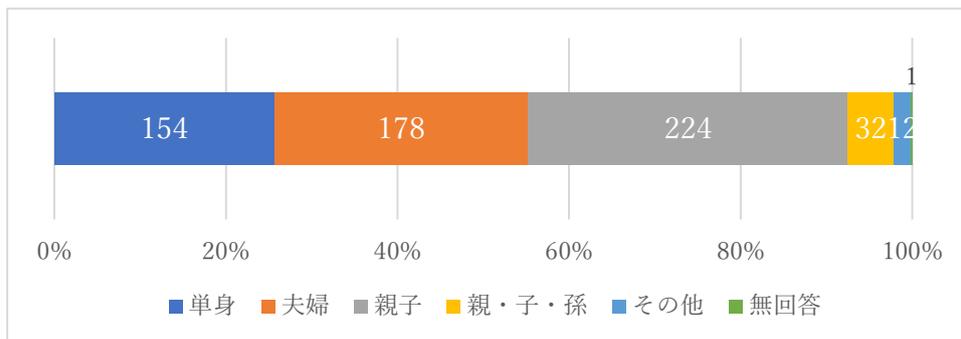
性別



年齢

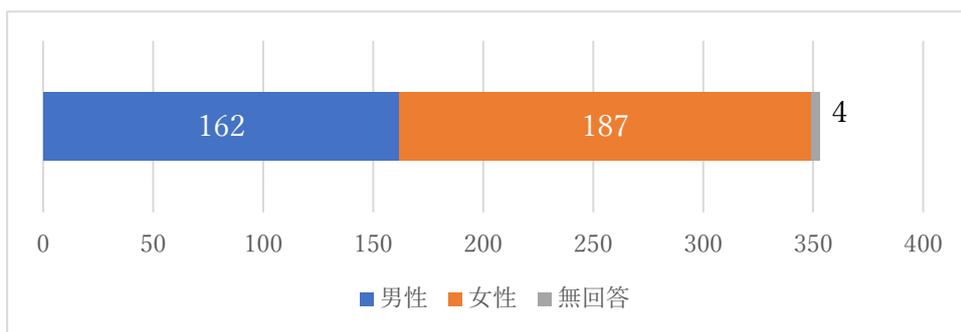


世帯構成

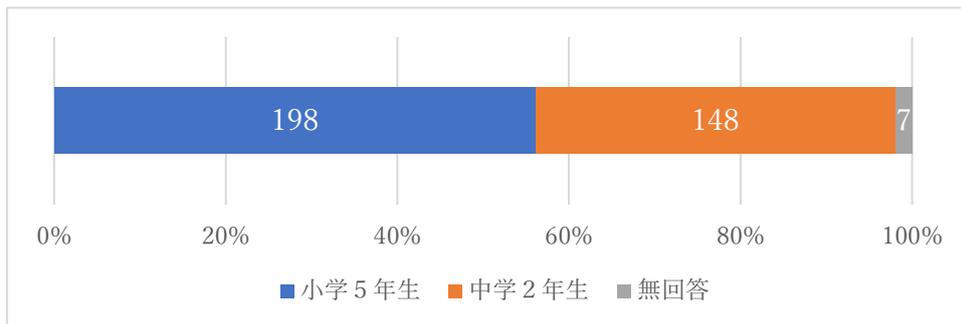


○児童生徒

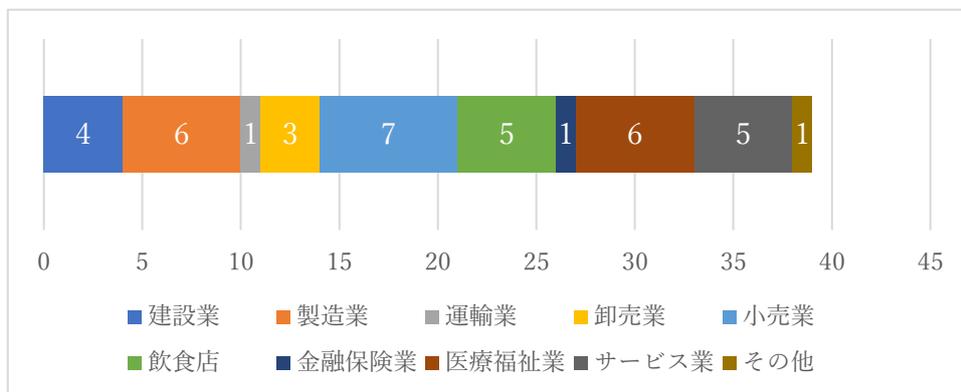
性別



学年

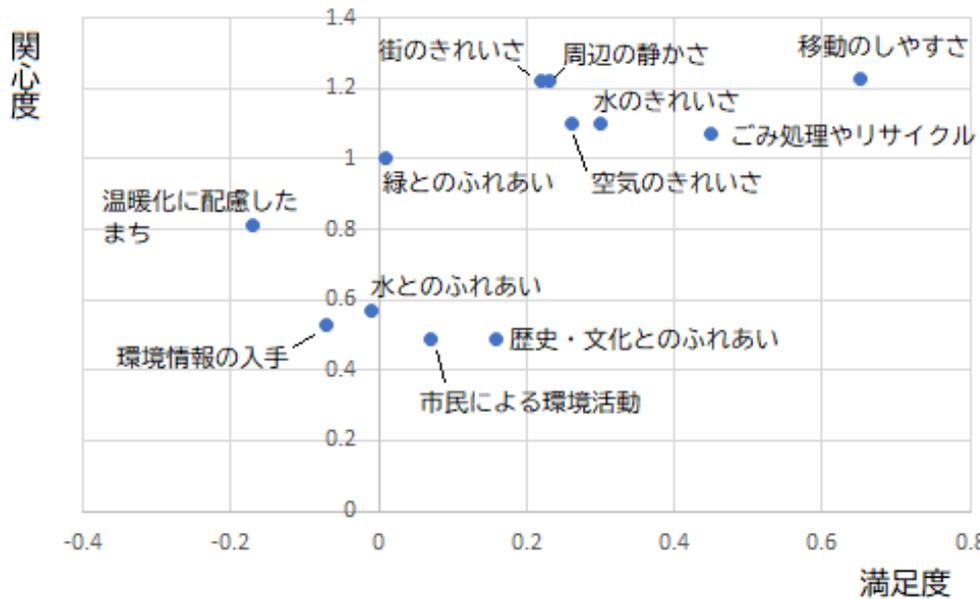


○事業所



### 3. 環境への満足度、関心度

○市民

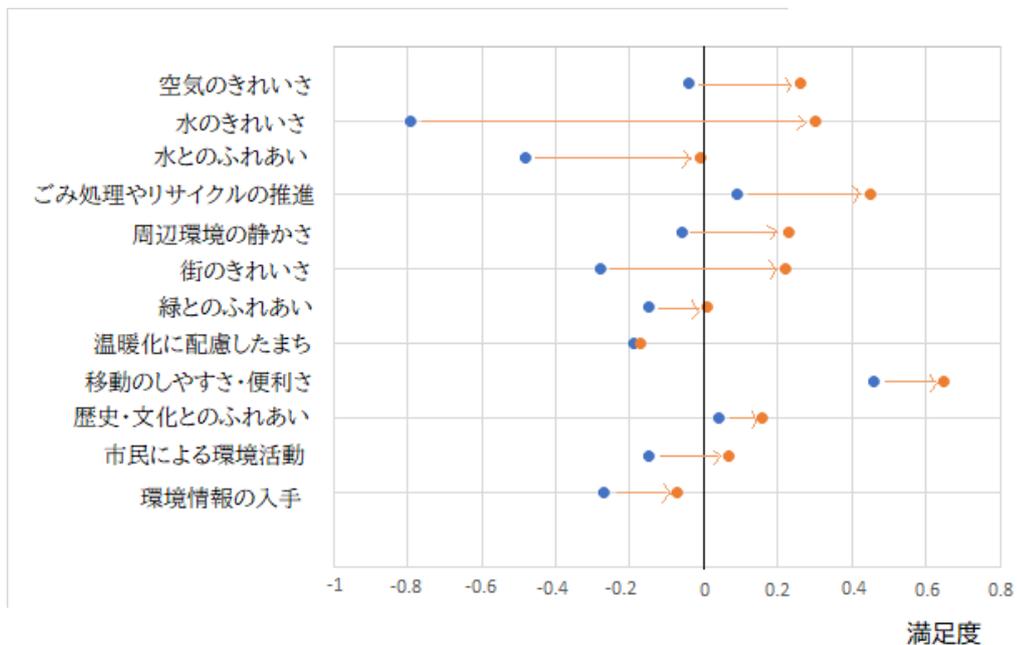


各項目を点数化して平均値を算出し、プロットしています。

満足=2点, やや満足=1点, どちらでもない=0点, やや不満=-1点, 不満=-2点

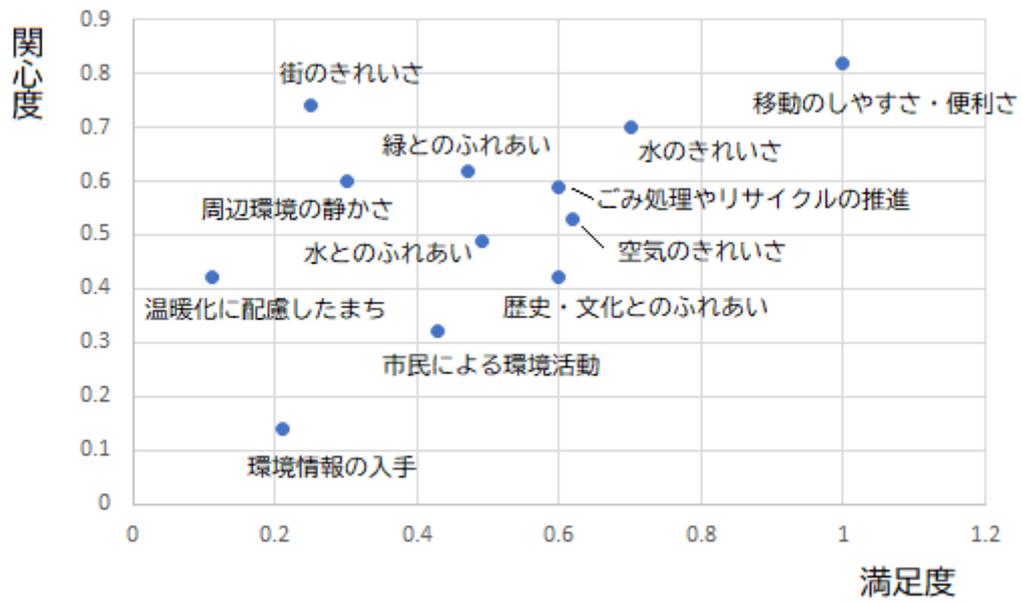
関心がある=2点, 少し関心がある=1点, どちらでもない=0点, あまり関心がない=-1点, 関心がない=-2点

前回計画策定時 (H23) からの満足度の変化



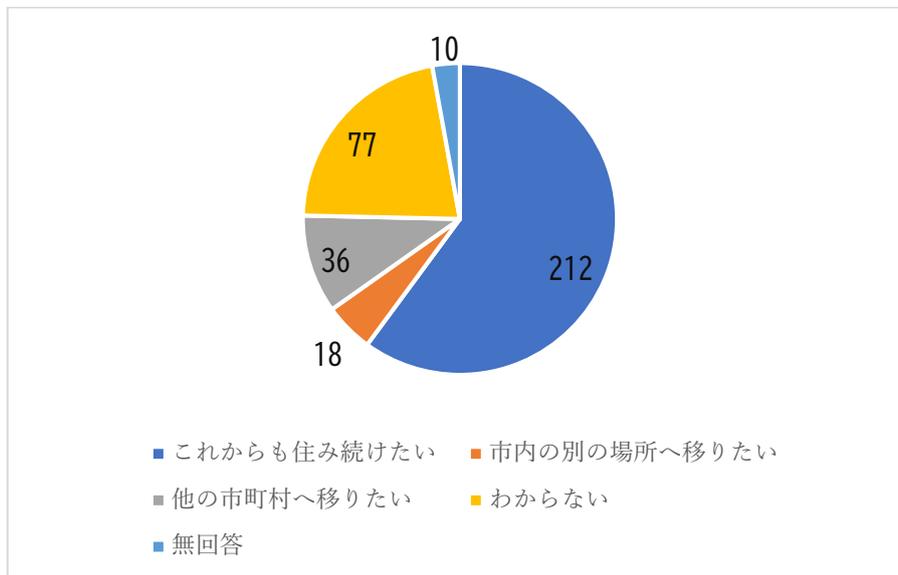
すべての項目で満足度は向上しています。

○児童生徒



大人に比べて満足度が高く、関心度が低い傾向にある。

永住希望



(数字は件数)

#### 4. 取り組んでいる環境配慮行動

実施している=3点 たまに実施している=2点 今後実施する=1点で評価点を算出

##### ○市民

	評価点
ごみのポイ捨てをしない	1777
ごみの分別回収に協力している	1750
買い物袋を持参し、レジ袋を使わない	1677
台所から食用油や食べかすを、排水溝へ流さないようにしている	1655
不要な照明等は消すようにしている	1613
電気ポットの保温は切り、必要なときに沸かしている	1460
エアコンのフィルター掃除をしている	1435
近距離の外出では、なるべく自動車は使わず、自転車あるいは歩いている	1415
省エネルギー型の家電製品を購入している	1259
待機電力を削減している（不要なコンセントは抜くなど）	1172
冷房の温度設定を28度以上にしている	1144
テレビや新聞で、環境に関する情報を意識して見ている	1139
暖房の設定温度を20度以下にしている	1119
テレビを見る時間を減らすようにしている	1117
なるべく自動車の利用は控え、バスや電車を利用している	1107
家庭で花や木を育てている	1102
地元や近郊で採れた農作物を購入している	1000
自動車に乗る時は低公害車に乗っている	966
風呂の残り湯は洗濯や打ち水などに活用している	957
環境問題について家族で話し合っている	727

##### ○児童生徒

	評価点
ごみの分別回収に協力している	922
買い物袋を持参し、レジ袋を使わない	907
使っていない部屋の電気を消す	897
私の家族は、台所から食用油や食べかすを、排水溝へ流さないようにしている	861
ごみのポイ捨てをしない	820
私の家族は、風呂の残り湯を再利用するなど、節水に努めている。	699
家庭で花や木を育てている	664
冷房の温度設定を28度以上にしている	585
使っていない家電製品のコンセントを抜いている	582
暖房の設定温度を20度以下にしている	556
テレビを見る時間を減らすようにしている	550
私の家族は、地元や近郊で採れた農作物を購入している	547
テレビや新聞で、環境に関する情報を意識して見ている	535
私の家族は、自動車に乗る時は低公害車に乗っている	478
環境問題について家族で話し合っている	381
家族で外出時は、なるべく自動車の利用は控え、バスや電車を利用している	316

○事業所

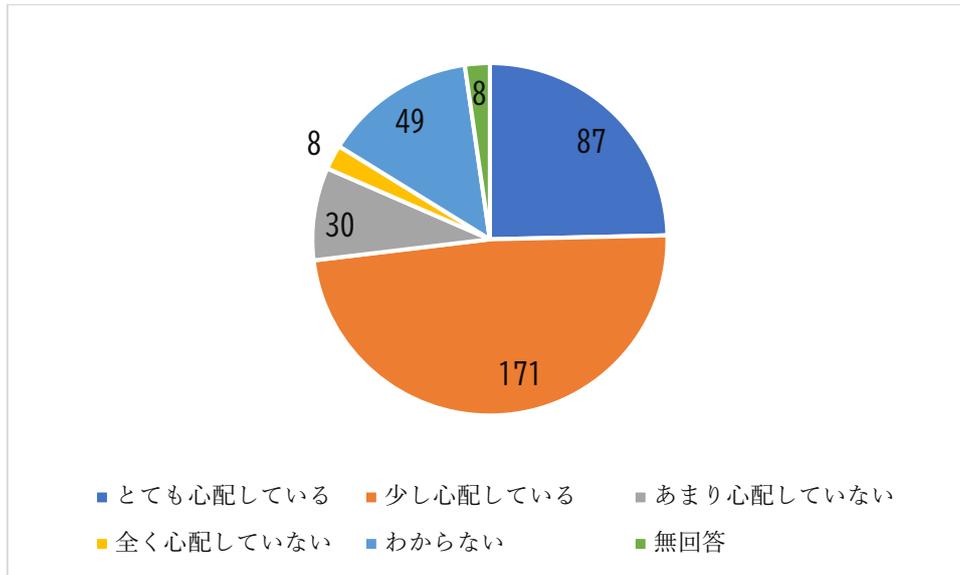
環境保全や環境負荷の低減に向けた取り組み

ごみの分別回収に協力している	9 4
事業所内のごみの減量、リサイクルの推進など	7 5
環境に配慮した商品・サービスの製造・販売・提供	5 0
規制基準（排水・排ガス・騒音・悪臭など）の適合状況の監視・チェック体制の整備	4 9
環境に配慮した商品・サービス等の使用（グリーン購入）	4 6
事業所敷地内の緑化などの環境づくり	4 5
地域の環境保全活動への参加・協力・支援	4 3
低公害車の導入や物流システムの効率化	3 8
取引先に対して環境に配慮した購入（調達）基準の設定	3 7
会社／事業所での環境負荷低減の目標等の設定	3 5
環境保全や環境負荷低減に関する従業員への研修	3 1
環境保全や環境負荷低減に関する専門的な人材の配置	2 7

省エネルギーの取組

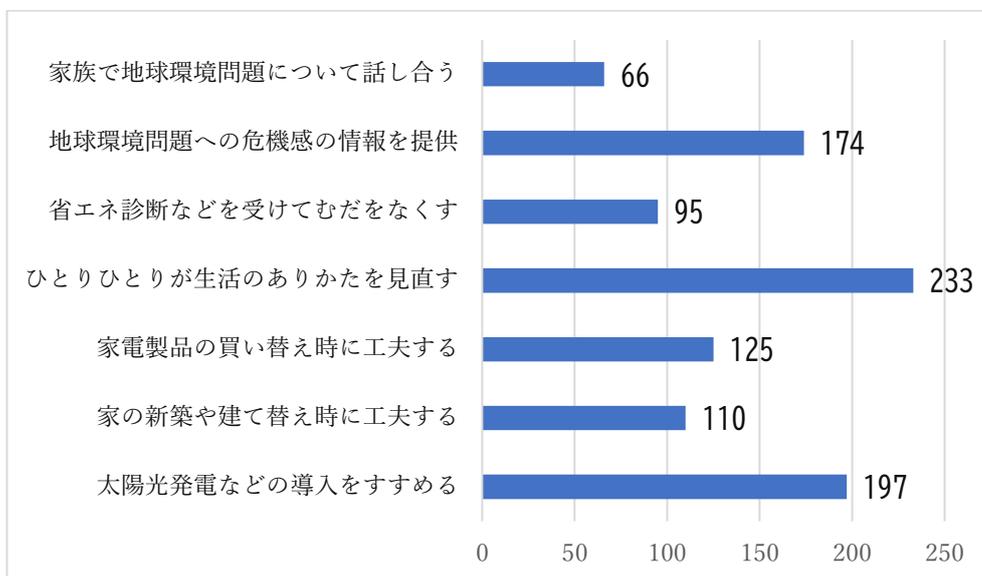
LED などの高効率照明の導入	6 2
高効率空調設備の導入	2 2
省エネ診断の受診	2 1
工場や事務所の建物の断熱化、複層ガラスの導入	1 2
エネルギー効率の高い製造設備の導入	1 2
BEMS 等、エネルギーマネジメントシステムの導入	9
蓄電池システムの導入	8
コージェネレーションシステムの導入	8
ESCO 事業の導入	6
太陽光発電装置の導入	6

## 5. 児童生徒の地球環境に関する意識



(数字は件数)

### 家庭の温室効果ガス対策で取り組むべきと考えるもの



## 6. 施策に対する評価と今後の希望

現状の施策への満足度

満足度は、項目を点数化して加重平均を算出して、プロットしています。

満足=2点、やや満足=1点、どちらでもない=0点、やや不満=-1点、不満=-2点

上位3項目は、市民では

①ごみの分別収集の徹底 ②マイバッグの活用と簡易包装の推進 ③まちなみ・景観の美化  
事業者では

①ごみの分別収集の徹底 ②生ごみ等の堆肥化システムの確立、池上曽根遺跡の保全と活性化  
でした。

			市民	事業所
く ら し	安心して快適 に暮らせるまち づくり	まちなみ・景観の美化	③ 0.25	0.14
		バリアフリーのまちづくり	-0.09	-0.11
		自転車の利用促進	0.16	0.08
		自動車の利用改善	-0.01	-0.03
	健やかに暮ら せるまちづくり	大気環境の保全	0.00	-0.08
		水環境の保全	0.08	0.05
		騒音の防止対策	-0.24	0.03
		有害化学物質の削減	-0.02	0
	ごみの少ない まちづくり	マイバッグの活用と簡易包装の推進	② 0.79	0.11
		ごみの分別収集の徹底	① 0.84	① 0.58
		生ごみ等の堆肥化システムの確立	0.18	② 0.22
	リユース・リサ イクルの推進	リユース・リサイクルの推進	0.22	0.12
		エコ商品のPRと選択	0.11	0.03
リサイクル資材の活用		0.17	0	
自 然 環 境	みどりの保全と 創出	樹木の保全	0.15	0
		みどりの名所づくり	-0.01	-0.19
		市・市民・事業者の連携による緑化	0.02	-0.17
		行政による緑化の誘導・支援	-0.05	-0.20
	土の保全とふ れあいの創出	農地の保全	-0.08	0
		農地の活用	-0.08	-0.05
	豊かな水辺の あるまちづくり	生き物が集まる大津川の再生	0.0	-0.22
		臨海地域の水辺の創出	-0.12	-0.25
		水辺での学習・生き物調査等の取組み	-0.06	-0.19
		水辺の自然を豊かにする活動	-0.05	-0.20
	水の循環利用 の推進	雨水・井戸水の有効利用	-0.04	-0.17
		雨水の地下浸透の促進	-0.07	-0.14

			市民	事業所
地球環境	省エネ・省CO2の推進	ライフスタイルの改善	0.10	0.08
		CO2排出量の少ない機器の導入推進	0.06	0.05
		エコドライブの推進	0.07	0.03
	クリーンエネルギーの活用推進	自然エネルギーの活用	-0.06	-0.11
		エコカーの導入推進	-0.01	-0.06
		エコ燃料の利用推進	-0.09	-0.06
	市役所における率先的な取り組みの推進	地球温暖化防止対策の検討	-0.05	-0.03
		オゾン層破壊に係る物質の回収	-0.08	0.03
		環境モデル地区等の設定検討	-0.05	0.08
	豊かなこころ	人と人がふれあうまちづくり	各種イベントの企画	0.23
あらゆる年代の方がともに集える場づくり			0.03	0.15
自治会活動の支援			0.11	0.15
アドプト制度の取組み			0.01	0.08
歴史的環境の保全		池上曾根遺跡の保全と活性化	0.24	② 0.22
		歴史的な社寺、家並み等の景観保全	0.21	0.11
環境教育・学習の支援、推進		小・中学生を対象にした環境教育・学習の取組み	0.08	0.08
		市民を対象にした環境教育・学習の取組み	0.02	0.05
		他市等との合同企画・イベントの開催	0.03	0.05
環境情報の提供		各取組みの進捗状況の公表	-0.01	0.05
		環境に関わる情報のネットワーク化と資料の公開	0.01	0.11
		各地域で環境に関わる行政と市民との対話の実施	-0.01	0.08
		情報基地(拠点)の設置	-0.04	0.08

施策に対して今後力を入れるべきとする意見の数

項目の上位3項目は、市民では

①バリアフリーのまちづくり ②生き物が集まる大津川の再生 ③まちなみ・景観の美化

児童生徒では

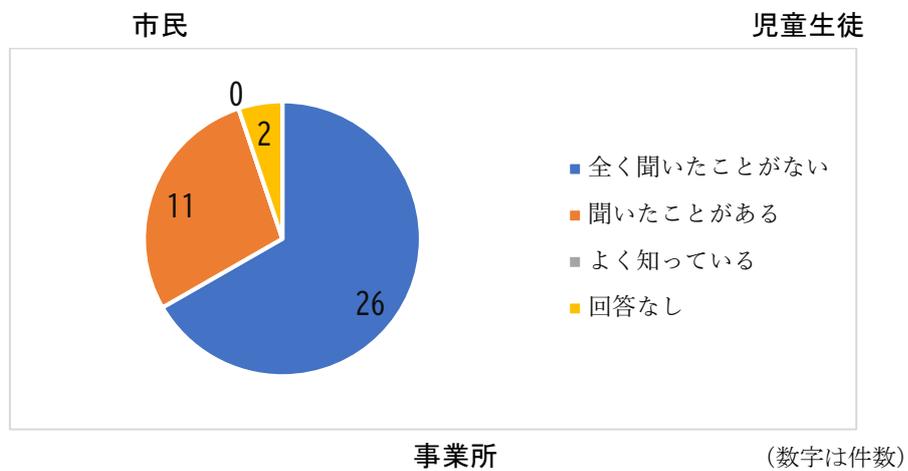
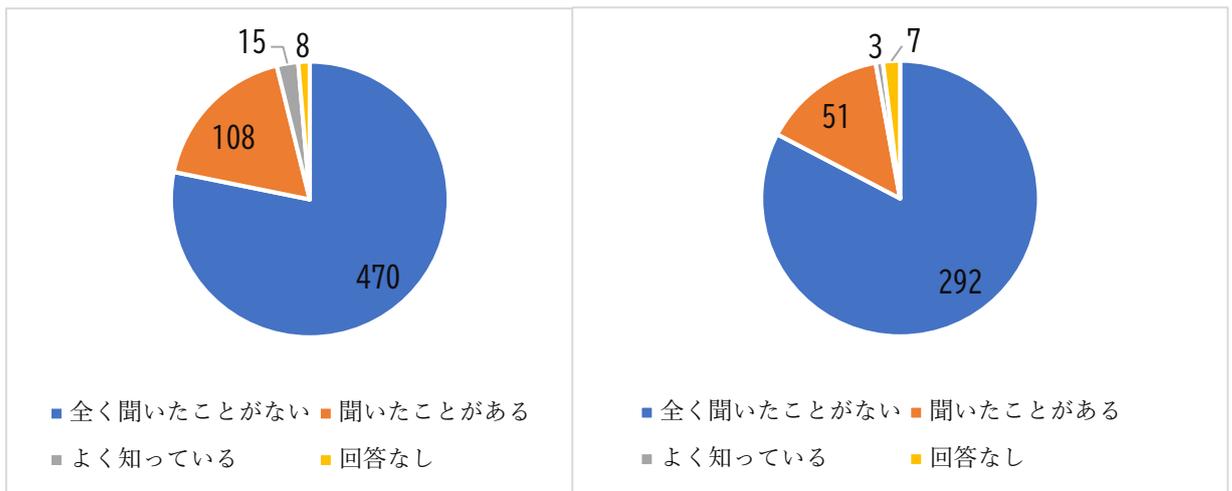
①バリアフリーのまちづくり ②まちなみ・景観の美化、生き物が集まる大津川の再生

でした。

			市民	児童生徒	事業所
く ら し る	安心して快 適に暮らせ るまちづく り	まちなみ・景観の美化	③196	②231	14
		バリアフリーのまちづくり	①241	①265	10
		自転車の利用促進	99	90	4
		自動車の利用改善	61	109	3
	健やかに暮 らせるまち づくり	大気環境の保全	190	202	6
		水環境の保全	175	224	6
		騒音の防止対策	179	211	6
		有害化学物質の削減	162	230	8
	ごみの少な いまちづく り	マイバッグの活用と簡易包装の推 進	106	224	3
		ごみの分別収集の徹底	133	203	2
		生ごみ等の堆肥化システムの確立	120	156	5
	リユース・リ サイクルの 推進	リユース・リサイクルの推進	99	226	5
		エコ商品のPRと選択	72	120	1
リサイクル資材の活用		114	203	5	
自 然 環 境	みどりの保 全と創出	樹木の保全	158	184	10
		みどりの名所づくり	134	157	9
		市・市民・事業者の連携による緑 化	103	142	5
		行政による緑化の誘導・支援	122	137	4
	土の保全と ふれあいの 創出	農地の保全	82	162	3
		農地の活用	108	176	3
	豊かな水辺 のあるまち づくり	生き物が集まる大津川の再生	② 201	②231	8
		臨海地域の水辺の創出	105	118	7
		水辺での学習・生き物調査等の取 組み	82	156	4
		水辺の自然を豊かにする活動	144	215	7
水の循環利 用の推進	雨水・井戸水の有効利用	117	158	4	
	雨水の地下浸透の促進	118	126	4	

			市民	児童生徒	事業所
地球環境	省エネ・省CO2の推進	ライフスタイルの改善	70	101	4
		CO2排出量の少ない機器の導入推進	136	208	6
		エコドライブの推進	74	128	2
	クリーンエネルギーの活用推進	自然エネルギーの活用	148	207	7
		エコカーの導入推進	88	142	3
		エコ燃料の利用推進	86	160	1
	泉大津市における率先的な取り組みの推進	地球温暖化防止対策の検討	158	208	7
		オゾン層破壊に係る物質の回収	116	143	5
		環境モデル地区等の設定検討	64	99	2
	豊かなこころ	人と人がふれあうまちづくり	各種イベントの企画	73	193
あらゆる年代の方がともに集える場づくり			105	169	8
自治会活動の支援			72	118	7
アドプト制度の取り組み			19	138	1
歴史的環境の保全		池上曾根遺跡の保全と活性化	82	152	4
		歴史的な社寺、家並み等の景観保全	101	144	8
環境教育・学習の支援、推進		小・中学生を対象にした環境教育・学習の取り組み	130	213	7
		市民を対象にした環境教育・学習の取り組み	86	121	5
		他市等との合同企画・イベントの開催	56	140	4
環境情報の提供		各取り組みの進捗状況の公表	67	87	2
		環境に関わる情報のネットワーク化と資料の公開	58	121	4
		各地域で環境に関わる行政と市民との対話の実施	49	77	3
		情報基地(拠点)の設置	57	101	3

## 7. 泉大津市気候非常事態宣言について



非常事態宣言が「2050年までにCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」「農山村を有する自治体等との連携」「環境保全と経済活動が両立した都市構造」を目指すとしていることについて、市民の考え

